令和５年度　シラバス

３年Ｉ型

教科	国語	科目	国語表現	講座	３年Ｉ型	種別	必修
単位数	２	教科書	国語表現改訂版(教育出版)				
副教材	なし						
授業形態	講義、演習、グループ学習、発表　など						
科目の目標	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。						
身に付けてほしい学力	１　コミュニケーションの総合的な力。 ２　現代の社会問題に対する自分の考えを論理的に表現することができる力。						

学習計画	単元	学習のあらまし
	【１学期】 Ⅱ　実践編 ７　小論文Ｉ ８　小論文Ⅱ ◇小論文の発展トレーニング ９　論文作成法 10　プレゼンテーションの方法 11　面接――社会との接点	・文章表現の基礎を復習する。 ・文章の「型」や、文章執筆のための設計図の作成法を習得し、論理的文章を書くための基礎力を養成し、実際に小論文を書くとともに、書き上げた文章を推敲するときの観点を具体的に学ぶ。 ・自己分析を通して、自分を理解し、自己アピールや志望理由を作成する。また、模擬面接を通して、面接の基本事項を学び、実践力を身に付ける。
	【２学期】 12　話し合いの方法	・ディベートの流れときまり、論題についての調査から立案までの方法を学び、実際にディベートを実践する。
	Ⅲ総合編 13　物語の創作 14　メディア・リテラシー 15　社会にはたらきかける表現 ステップ① ◇漢字と語彙のトレーニング	・絵カードを並べ替え、ストーリーを作成する。 ・新聞記事の読み比べや実際の広告の分析を通して、表現上の工夫を確認するとともに、各メディアの特徴を理解する。 ・本のポップ作りを通して、人を引き付ける情報発信の手法を学習する。 ・日常生活に必要な漢字と語彙を学習する。
	【３学期】 15　社会にはたらきかける表現 ステップ② ◇漢字と語彙のトレーニング (教科書)◇漢字と語彙のトレーニング	・３年間の高校生活を紹介するスライド作りや発表を通して、受け手の五感に訴える表現の仕方を学ぶとともに、情報発信の際のさまざまなルールを理解する。 ・日常生活に必要な漢字と語彙を学習する。

評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	知識・理解
	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり話し合ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	言葉の特徴や決まり、役割などについての理解を深め、知識を身に付けている。
	上記の観点を踏まえ、①提出物　②授業に取り組む姿勢　③定期考査　を総合的に判断して評価する。			

学習のアドバイス	１　休まず授業に出席しよう。 ２　様々な活動を通して自己を見つめ、他者の考え方を理解し、表現の幅を広げよう。 ３　現代社会の問題に関心を持ち、自分の考えを持とう。
その他	評価においては、定期考査よりも日々の活動の状況や提出物が大きなウエイトを占めます。

教科	国語	科目	現代文Ｂ	講座	３年Ｉ型	種別	必修

<table>
<tr><td>単位数</td><td>３</td><td>教科書</td><td colspan="3">新　高等学校現代文Ｂ（明治書院）</td></tr>
<tr><td>副教材</td><td colspan="5">新訂国語図説、国語辞典（電子辞書可）</td></tr>
<tr><td>授業形態</td><td colspan="5">講義、グループ活動、発表など</td></tr>
<tr><td>科目の
目標</td><td colspan="5">近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。</td></tr>
<tr><td>身に付けてほしい学力</td><td colspan="5">１　文章を論理的に読解し、的確に理解する力。
２　自分の意見を筋道立てて述べる力。他者の意見を聞き、それをふまえてさらに自分の意見を深め、表現できる力。
３　作品に表れたものの見方、感じ方、考え方を理解し、そこからさらに自己のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする力。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">学習計画</td><td colspan="3">単元</td><td colspan="2">学習のあらまし</td></tr>
<tr><td colspan="3">【１学期】
随想　「はじめての失敗」

小説（１）　「マスク」
「オデュッセイア」
評論　「言葉を理解する」
「小説とは何か」
【２学期】
小説（２）　「博士の愛した数式」

評論（２）　「あるいは「風」について」
「物の見えたる光」
【３学期】
小説（３）　「舞踏会」</td><td colspan="2">・随想から、その表現を読み味わい、言葉に対する感性を磨く。
・文体や修辞など表現上の特色を捉え、作品を深く味わう。

・評論の文章において、論の展開、論拠、要旨を的確に捉える。

・小説の舞台設定、構成、文体の特徴をつかむとともに、登場人物の人物像や心情の推移を的確に読み取る。
・評論の文章において、論の組み立て方や要旨を的確に捉える。

・作者の作風の特徴をつかみ、青年の興奮は何に対してであるかを明らかにし、作品の主題を明らかにする。
・長編小説の展開を丁寧に追って作品の主題に迫る。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">評価の
観点・
評価方法</td><td>関心・意欲・態度</td><td>話す・聞く能力</td><td>書く能力</td><td>読む能力</td><td>知識・理解</td></tr>
<tr><td>国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。</td><td>目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。</td><td>必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。</td><td>近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。</td><td>言語文化及び言葉の特徴や決まりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。</td></tr>
<tr><td colspan="5">上記の観点を踏まえ、①定期考査　②提出物　③授業に取り組む姿勢　を総合的に判断して評価する。</td></tr>
<tr><td>学習の
アドバイス</td><td colspan="5">１　休まず授業に出席しよう。
２　予習や課題にしっかり取り組もう。
３　日頃からノートの整理をしっかりと行おう。学期末にはノート提出があります。
４　授業中は積極的に自分の意見を発言しよう。また、他の人の意見にもきちんと耳を傾け、そこから自分の考えをさらに深めてみよう。</td></tr>
<tr><td>その他</td><td colspan="5">特になし</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教科</td><td>地理歴史</td><td>科目</td><td colspan="2">日本史Ｂ</td><td>講座</td><td>３年Ｉ型</td><td>種別</td><td>必修</td></tr>
<tr><td>単位数</td><td>２</td><td>教科書</td><td colspan="6">最新日本史（明成社）</td></tr>
<tr><td>副教材</td><td colspan="8">詳説　日本史図録　第８版（山川出版社）</td></tr>
<tr><td>授業形態</td><td colspan="8">講義、グループ学習、発表など</td></tr>
<tr><td>科目の
目標</td><td colspan="8">我が国の歴史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察し、我が国の文化と伝統の特色についての認識を深めることによって、歴史的思考力を培い国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人の資質を養う。</td></tr>
<tr><td>身に付けてほしい学力</td><td colspan="8">１　我が国の歴史に興味を持ち、基本的な知識を習得する。
２　我が国の文化と伝統の特色について認識を深めることで、歴史的思考力を培う。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">学習計画</td><td colspan="4">単元</td><td colspan="4">学習のあらまし</td></tr>
<tr><td colspan="4">【１学期】
１　封建社会の確立
２　幕政の進展と文化の普及
３　封建社会の動揺と文化の爛熟
４　開国と幕末の政局
【２学期】
１　明治維新と近代国家の形成
２　立憲国家の成立
３　近代日本とアジア
４　国際情勢の転換と日本
５　世界の動乱と日本
【３学期】
１　占領統治と日本の独立
２　高度経済成長と日本</td><td colspan="4">・江戸幕府の幕藩体制や法制度確立の過程を理解する。
・経済・文化の発展を江戸幕府の安定期と関連させて考察する。
・開国から明治維新に至るまでの過程を理解する。
・明治新政府の制度改革や様々な政策に着目して、明治初期の政治的変革と国家的統一過程を考察する。
・日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進を諸外国の動向と関連付けて考察する。
・戦後の世界秩序を踏まえ、諸改革について、その経過と内容を考察する。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">評価の
観点・
評価方法</td><td colspan="2">関心・意欲・態度</td><td colspan="2">思考・判断・表現</td><td colspan="2">資料活用の技能</td><td colspan="3">知識・理解</td></tr>
<tr><td colspan="2">歴史に興味や関心を持ち、自ら課題を発見し、話合いの場面で、仲間の意見に耳を傾けながら、自らの意見を積極的に発表しようとする。</td><td colspan="2">歴史的事象を多面的、多角的に捉え、他の事象との比較や検討をし、関連を考察し、公正に判断してノートや学習プリントなどに記述できる。</td><td colspan="2">必要に応じて多様な情報を活用し、有用な資料を選択・収集ができ、資料の特性を踏まえて、的確に情報を読み取ったり、活用したりすることができる。</td><td colspan="3">歴史的事象を捉える基本的事項に関する知識を十分に持ち、歴史的事象や各時代の特色について理解し、説明することができる。</td></tr>
<tr><td colspan="8">定期考査並びに小テスト及び授業態度、提出物等に基づいて、「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「資料活用の技能」「知識・理解」の４観点から総合的に評価する。</td></tr>
<tr><td>学習の
アドバイス</td><td colspan="8">１　授業に休まず出席し、活動をする場面では、積極的に参加する。
２　歴史に興味を持ち、基本的な歴史事項を理解し、定着させようとする。</td></tr>
<tr><td>その他</td><td colspan="8">特になし</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教科</td><td>公民</td><td>科目</td><td colspan="2">政治・経済</td><td>講座</td><td>３年Ｉ型</td><td>種別</td><td>必修</td></tr>
<tr><td>単位数</td><td>２</td><td>教科書</td><td colspan="6">高等学校　新政治・経済　新訂版</td></tr>
<tr><td>副教材</td><td colspan="8">なし</td></tr>
<tr><td>授業形態</td><td colspan="8">講義、グループ活動　等</td></tr>
<tr><td>科目の
目標</td><td colspan="8">現代の政治・経済に興味・関心を持ち、様々な出来事に対して問題意識を持って思考するとともに、自ら現代社会が抱える課題を発見、解決するために必要な技能や表現力を身に付ける。</td></tr>
<tr><td>身に付けてほしい学力</td><td colspan="8">１　現代社会の政治的・経済的事象に対して、興味関心を持ち、積極的に取り組む姿勢を養う。
２　科学的な視野に立って思考、分析、判断、表現できる力を身に付ける。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">学習計画</td><td colspan="4">単元</td><td colspan="4">学習のあらまし</td></tr>
<tr><td colspan="4">【１学期】
１　民主政治の基本原理
２　日本国憲法と基本的人権
３　日本の平和主義と安全保障
４　日本の政治機構
５　現代日本の政治
６　国際政治と日本
【２学期】
１　現代経済の特質
２　現代日本の経済
３　国際経済と日本
【３学期】
１　現代日本の諸課題
２　国際社会の諸課題</td><td colspan="4">・人にとっての政治の意義と意味や民主的な社会における国民の権利・義務関係について、考察する。
・日本国憲法の内容や意義を理解しながら、現代に生きる私たちの在り方・生き方を考察する。

・現代日本における経済のしくみを理解しながら、経済の果たす役割について考察する。
・世界のなかにおける日本の経済的な位置づけはどのように変化してきたか、考察する。

・現代の世界や日本が抱える諸課題を理解しながら、その解決方法を考察する。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">評価の
観点・
評価方法</td><td colspan="2">関心・意欲・態度</td><td colspan="2">思考・判断・表現</td><td colspan="2">資料活用の技能</td><td colspan="2">知識・理解</td></tr>
<tr><td colspan="2">授業に意欲的に参加し、学習内容に対して科学的な視点をもって関心を持つことができる。</td><td colspan="2">学習内容に対して科学的に思考、判断、分析し、その成果を表現できる。</td><td colspan="2">必要に応じて、資料を活用して、課題を解決できる。
提示された資料から様々な情報を読み取れる。</td><td colspan="2">科学な視点に立って、習得した知識を活用して、提示された課題や自ら発見した課題を解決することができる。</td></tr>
<tr><td colspan="8">・授業中の態度、発言、提出物、課題への取り組み方と定期考査により、総合的に評価を行う。</td></tr>
<tr><td>学習の
アドバイス</td><td colspan="8">・しっかりと教科書、資料集をよく読み、重要だと思った事項にマーカーで目印を付ける。
・教科書をベースに自らノートを作成し、板書事項や自分が調べたことを書き加えて、自分だけのノートづくりに取り組む。
・提示された課題に対する分析結果や意見を論理的に自らの言葉で表現する小論文に取り組む。</td></tr>
<tr><td>その他</td><td colspan="8">特になし</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教科</td><td>数学</td><td>科目</td><td colspan="2">数学Ⅱ</td><td>講座</td><td>３年Ⅰ型</td><td>種別</td><td>必修</td></tr>
<tr><td>単位数</td><td>２</td><td>教科書</td><td colspan="6">改訂版　新 高校の数学Ⅱ(数研出版)</td></tr>
<tr><td>副教材</td><td colspan="8">ポイントノート 数学Ⅱ(数研出版)　数学就職問題集 令和５年度（愛媛県高等学校教育研究会）</td></tr>
<tr><td>授業形態</td><td colspan="8">講義、演習</td></tr>
<tr><td>科目の
目標</td><td colspan="8">指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を育てる。</td></tr>
<tr><td>身に付けて
ほしい学力</td><td colspan="8">１　三角関数や指数・対数関数について理解し、活用できるようになる。
２　微分法・積分法について理解し、活用できるようになる。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">学習計画</td><td colspan="4">単元</td><td colspan="4">学習のあらまし</td></tr>
<tr><td colspan="4">【１学期】
第４章　指数関数・対数関数
第５章　微分法と積分法
第１節　微分法
（数学就職問題集）
【２学期】
第２節　積分法
（数学就職問題集）
第６章　三角比と三角関数
第７章　指数関数と対数関数
【３学期】
第８章　微分と積分</td><td colspan="4">・対数の性質やその利用について学ぶ。
・微分係数や導関数、関数の増減や極値などについて学ぶ。
・不定積分とその計算、定積分と面積について学ぶ。
・問題演習を通して、三角比や三角関数、指数関数、対数関数について学ぶ。
・問題演習を通して、微分法、積分法について学ぶ。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">評価の
観点・
評価方法</td><td colspan="2">関心・意欲・態度</td><td colspan="2">数学的な見方や考え方</td><td colspan="2">数学的な技能</td><td colspan="3">知識・理解</td></tr>
<tr><td colspan="2">いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えにおける考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。</td><td colspan="2">いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えにおいて、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。</td><td colspan="2">いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えにおいて、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。</td><td colspan="3">いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えにおける基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。</td></tr>
<tr><td colspan="8">上記の観点を踏まえ、①定期考査　②実技試験　③提出物　④授業態度　を総合的に判断して評価する。</td></tr>
<tr><td>学習の
アドバイス</td><td colspan="8">１　休まずに授業に出席する。
２　必ず復習を行い、課題を提出する。
３　基本問題を何度も演習し、学習内容の定着を図る。
４　学期末にノート提出があるので、日頃からノートの整理をしっかりと行うこと。</td></tr>
<tr><td>その他</td><td colspan="8">特になし</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教科</td><td>理科</td><td>科目</td><td colspan="2">科学と人間生活</td><td>講座</td><td>３年Ｉ型</td><td>種別</td><td>必修</td></tr>
<tr><td>単位数</td><td>２</td><td>教科書</td><td colspan="6">新　科学と人間生活　（数研出版）</td></tr>
<tr><td>副教材</td><td colspan="8">なし</td></tr>
<tr><td>授業形態</td><td colspan="8">講義、観察・実験、発表　など</td></tr>
<tr><td>科目の
目標</td><td colspan="8">自然と人間生活との関わり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察、実験などを通して理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。</td></tr>
<tr><td>身に付けてほしい学力</td><td colspan="8">１　様々な自然現象を観察して、疑問や不思議さを感じ、問題点を表現する力
２　自分の考えや抽象的なことを表現する力、それを他者にわかりやすく伝える力</td></tr>
<tr><td rowspan="2">学習計画</td><td colspan="4">単元</td><td colspan="4">学習のあらまし</td></tr>
<tr><td colspan="4">【１学期】
序編　科学技術の発展
第１編　物質の科学
　第１章　金属、プラスチックとその再利用
　第２章　衣料と食品

【２学期】
第２編　生命の科学
　第１章　生物と光
　第２章　微生物とその利用
第３編　熱や光の科学
　第１章　熱の性質とその利用
　第２章　光の性質とその利用

【３学期】
第４編　地球や宇宙の科学
　第１章　自然景観と自然災害
　第２章　太陽系における地球
終編　これからの科学と人間生活</td><td colspan="4">・実験上の注意点を学習する。
・実験における基本操作を学習する。
・実験結果・考察の発表の仕方を学習する。
・植物の生育、動物の行動及びヒトの視覚と光の
　かかわりについて理解する。
・身近な衣料材料の性質や用途、食品中の主な成
　分の性質について理解する。
・光を中心とした電磁波の性質とその利用につい
　て理解する。
・太陽や月などの身近に見られる天体と人間生活
　とのかかわり、太陽系における地球について理
　解する。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">評価の
観点・
評価方法</td><td>関心・意欲・態度</td><td colspan="2">思考・判断</td><td colspan="2">観察・実験の技法</td><td colspan="3">知識・理解</td></tr>
<tr><td>自然の事物・現象に関心をもち、それらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。</td><td colspan="2">自然の事物・現象の中に疑問を見いだし、探究する過程を通して、事象を考察し、導き出した考えを表現している。</td><td colspan="2">観察・実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理する技能を身に付けている。</td><td colspan="3">自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、基本的な知識を身に付けている。</td></tr>
<tr><td colspan="8">上記の観点を踏まえ、①定期考査　②実験発表　③提出物　④授業態度　を総合的に判断して評価する。</td></tr>
<tr><td>学習の
アドバイス</td><td colspan="8">１ 疑問に思ったことを確かめてみようという態度を持つこと。
２ 学んだことを正確に記録する方法と態度を身に付けること。</td></tr>
<tr><td>その他</td><td colspan="8">特になし</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教科</td><td>保健体育</td><td>科目</td><td colspan="2">体育</td><td>講座</td><td>３年共通</td><td>種別</td><td>必修</td></tr>
<tr><td>単位数</td><td>２</td><td>教科書</td><td colspan="6">最新高等保健体育改訂版（大修館）</td></tr>
<tr><td>副教材</td><td colspan="8">最新高等保健体育ノート（大修館）</td></tr>
<tr><td>授業形態</td><td colspan="8">実技、講義</td></tr>
<tr><td>科目の
目標</td><td colspan="8">各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる能力・態度を育てる。</td></tr>
<tr><td>身に付けてほしい学力</td><td colspan="8">１　様々な競技に興味を持ち、他者と協力しながら積極的に取り組む態度を身に付ける。
２　各競技の技術を習得する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">学習計画</td><td colspan="4">単元</td><td colspan="4">学習のあらまし</td></tr>
<tr><td colspan="4">【１学期】
１　体つくり運動
２　球技（バレーボール）
３　体育理論

【２学期】
１　ダンス
２　球技（バスケットボール、サッカー）
３　体育理論

【３学期】
１　球技（バドミントン）
２　体育理論</td><td colspan="4">・集団行動を習得する。
・バレーボールの基本技能を習得する。
・各ライフステージのスポーツの楽しみ方、ライフスタイルに応じたスポーツの関わり方について学習する。
・運動会に向けて、ダンスを練習する。
・バスケットボール、サッカーの基本技能を習得する。
・スポーツ振興のための条件について学習する。

・バドミントンの基本技能を習得する。
・スポーツと環境と責任ある行動について学習する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">評価の
観点・
評価方法</td><td colspan="2">関心・意欲・態度</td><td colspan="2">思考・判断</td><td colspan="2">運動の技能</td><td colspan="2">知識・理解</td></tr>
<tr><td colspan="2">・運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう自ら進んで運動しようとする。
・公正、協力、責任などの態度を身に付けるとともに、健康や安全に留意して運動をしようとしている。</td><td colspan="2">・自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して、運動の仕方を考え、工夫している。</td><td colspan="2">・自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行うとともに、運動の技能を高めている。
・自己の体力や生活に応じて体力を高めるための運動の合理的な行い方を身に付けている。</td><td colspan="2">・生活における運動の意義や必要性及び運動の特性と合理的な行い方を理解し、知識を身に付けている。</td></tr>
<tr><td colspan="9">上記の観点を踏まえ、①出席状況　②実技試験　③提出物　④授業態度　を総合的に判断して評価する。出席状況、授業に対する関心や意欲、態度、また思考力や判断力、運動そのものの技能、そして知識や理解などを総合的に評価する。</td></tr>
<tr><td>学習の
アドバイス</td><td colspan="8">１　休まず授業に出席し、様々な競技を体験する。
２　得意・不得意に関係なく、全力で取り組む。
３　自己だけでなく、他者の安全にも十分注意して学習する。</td></tr>
<tr><td>その他</td><td colspan="8">特になし</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教科</td><td>保健体育</td><td>科目</td><td>体育探究</td><td>講座</td><td>３年Ｉ型</td><td>種別</td><td>選択</td></tr>
<tr><td>単位数</td><td>３</td><td>教科書</td><td colspan="5">ステップアップ高校スポーツ（大修館書店）</td></tr>
<tr><td>副教材</td><td colspan="7"></td></tr>
<tr><td>授業形態</td><td colspan="7">実技</td></tr>
<tr><td>科目の
目標</td><td colspan="7">専門的な実践を通して、運動の知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための資質や能力を育てる。</td></tr>
<tr><td>身に付けて
ほしい学力</td><td colspan="7">１　より専門的な各競技の技術を習得する。
２　生涯にわたってスポーツと関わるための資質や能力を身に着ける。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">学習計画</td><td colspan="4">単元</td><td colspan="3">学習のあらまし</td></tr>
<tr><td colspan="4">【１学期】
１　球技（テニス）

【２学期】
１　球技（卓球）

２　体力を高める運動（ウエイトトレーニング・持久走）

【３学期】
１　球技（バドミントン）</td><td colspan="3">・ネット型スポーツの技能を高める補助運動、実戦練習、試合

・ネット型スポーツの技能を高める補助運動、実戦練習、試合
・各種目のフォームの習得、計画の立案、記録計測

・ネット型スポーツの技能を高める補助運動、実戦練習、試合</td></tr>
<tr><td rowspan="2">評価の
観点・
評価方法</td><td>関心・意欲・態度</td><td colspan="2">思考・判断</td><td>運動の技能</td><td colspan="2">知識・理解</td></tr>
<tr><td>・運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう自ら進んで運動しようとする。
・公正、協力、責任などの態度を身に付けるとともに、健康や安全に留意して運動をしようとしている。</td><td colspan="2">・自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して、運動の仕方を考え、工夫している。</td><td>・自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行うとともに、運動の技能を高めている。
・自己の体力や生活に応じて体力を高めるための運動の合理的な行い方を身に付けている。</td><td colspan="2">・生活における運動の意義や必要性及び運動の特性と合理的な行い方を理解し、知識を身に付けている。</td></tr>
<tr><td colspan="7">上記の観点を踏まえ、①出席状況　②実技試験　③提出物　④授業態度　を総合的に判断して評価する。出席状況、授業に対する関心や意欲、態度、また思考力や判断力、運動そのものの技能、そして知識や理解などを総合的に評価する。</td></tr>
<tr><td>学習の
アドバイス</td><td colspan="7">１　休まず授業に出席し、様々な競技を体験する。
２　得意・不得意に関係なく、全力で取り組む。
３　自己だけでなく、他者の安全にも十分注意して学習する。</td></tr>
<tr><td>その他</td><td colspan="7">特になし</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教科</td><td>芸術</td><td>科目</td><td colspan="2">音楽Ⅲ</td><td>講座</td><td>３年Ⅰ型</td><td>種別</td><td>必修</td></tr>
<tr><td>単位数</td><td>３</td><td>教科書</td><td colspan="6">Joy of Music（教育芸術社）</td></tr>
<tr><td>副教材</td><td colspan="8">なし</td></tr>
<tr><td>授業形態</td><td colspan="8">講義、表現活動（歌唱、器楽、創作）、鑑賞活動</td></tr>
<tr><td>科目の
目標</td><td colspan="8">音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな音楽の能力を高める。</td></tr>
<tr><td>身に付けてほしい学力</td><td colspan="8">１　様々な表現活動を通して、音楽のよさや美しさを感じ取り、意図をもって表現しようとする。
２　鑑賞した音楽に多様な感じ取り方があることを理解し、創造して味わって聴くことができるようにする。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">学習計画</td><td colspan="4">単元</td><td colspan="4">学習のあらまし</td></tr>
<tr><td colspan="4">【１学期】
プロローグ
ソルフェージュ
日本の歌曲
リコーダー

【２学期】
合唱
ギター
鑑賞（世界の諸民族の音楽）

【３学期】
日本のポップス
外国のポップス
合唱</td><td colspan="4">・音楽Ⅱでの内容を展開しながら、更に音楽の基礎を学習する。
・歌唱や器楽などの技術を習得し、イメージを持って歌唱、演奏する。

・合唱や器楽、鑑賞などの活動を通して、楽曲の特質や雰囲気などを理解し感じ取り、表現技術を高める。

・日本の音楽と諸外国の音楽について学び、音楽に対する総合的な理解をより一層深める。
・１年間の学習のまとめをする。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">評価の
観点・
評価方法</td><td>音楽への関心・意欲・態度</td><td colspan="3">音楽表現の創意工夫</td><td colspan="2">音楽表現の技能</td><td colspan="2">鑑賞の能力</td></tr>
<tr><td>音楽や音楽文化に関心をもち、曲のイメージや表現内容を総合的に理解し、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に創造的に取り組もうとしている。</td><td colspan="3">楽曲の表現内容や特徴を総合的に理解し、表現意図を持って創造的に歌ったり、演奏したり、個性豊かに音楽をつくる工夫をしている。</td><td colspan="2">様々な表現形態による特徴を理解し、表現上の効果を生かすために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、主体的、創造的に表している。</td><td colspan="2">音楽と他の芸術や文化とのかかわりや、構造上の特徴と美しさとのかかわりを理解して、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして鑑賞している。</td></tr>
<tr><td colspan="8">上記の観点を踏まえ、①筆記試験　②実技試験　③提出物　④授業態度　を総合的に判断して評価する。</td></tr>
<tr><td>学習の
アドバイス</td><td colspan="8">１　休まず授業に出席し、提出物の期限を守ること。
２　演奏では自分なりの表現を大切にし、楽器演奏、歌唱、実技試験に臨む。
３　筆記試験も実施する。プリントは、ノートに貼って学期末に提出するので、日頃からノートの整理をしっかりと行う。</td></tr>
<tr><td>その他</td><td colspan="8">音楽大学受験のための学習とは違い、音楽を幅広く学習する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教科</td><td>芸術</td><td>科目</td><td colspan="2">音楽探究</td><td>講座</td><td>３年Ｉ型</td><td>種別</td><td>選択</td></tr>
<tr><td>単位数</td><td>２</td><td>教科書</td><td colspan="6">The Basics of Music ２訂版（教育芸術社）</td></tr>
<tr><td>副教材</td><td colspan="8">なし</td></tr>
<tr><td>授業形態</td><td colspan="8">講義、表現活動（歌唱、器楽、創作）、鑑賞活動</td></tr>
<tr><td>科目の
目標</td><td colspan="8">音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな音楽の能力を高め、音楽に対する総合的な理解を深める。</td></tr>
<tr><td>身に付けてほしい学力</td><td colspan="8">１　様々な楽器演奏や歌唱の技術を習得し、意図をもって表現しようとする。
２　楽譜を見て様々な情報を読み取り、表現活動ができる能力や、音楽に関する基礎的な理論を習
得する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">学習計画</td><td colspan="4">単元</td><td colspan="4">学習のあらまし</td></tr>
<tr><td colspan="4">【１学期】
ソルフェージュ
聴音
楽典
器楽
【２学期】
楽典
ソルフェージュ
聴音
器楽
【３学期】
器楽
記号と用語
楽曲の主な形式
まとめ</td><td colspan="4">・音楽Ⅱでの内容を展開しながら、更に音楽に関する理論を学習する。
・ソルフェージュや聴音、楽器演奏などの技術を習得する。

・さまざまなリズムや調の練習曲などを学習し、楽曲の特質や雰囲気などを理解し感じ取り、表現技術を高める。また、楽器演奏の技術を向上させる。

・音楽に関する記号や用語、形式などの学習を通して、音楽に対する総合的な理解をより一層深める。
・１年間の学習のまとめをする。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">評価の
観点・
評価方法</td><td>音楽への関心・意欲・態度</td><td colspan="2">音楽表現の創意工夫</td><td colspan="2">音楽表現の技能</td><td colspan="2">鑑賞の能力</td></tr>
<tr><td>音楽や音楽文化に関心をもち、曲のイメージや表現内容を総合的に理解し、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に創造的に取り組もうとしている。</td><td colspan="2">楽曲の表現内容や特徴を総合的に理解し、表現意図を持って創造的に歌ったり、演奏したり、個性豊かに音楽をつくる工夫をしている。</td><td colspan="2">様々な表現形態による特徴を理解し、表現上の効果を生かすために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、主体的、創造的に表している。</td><td colspan="2">音楽と他の芸術や文化との関わりや、構造上の特徴と美しさとの関わりを理解して、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして鑑賞している。</td></tr>
<tr><td colspan="8">上記の観点を踏まえ、①筆記試験　②実技試験　③提出物　④授業態度　を総合的に判断して評価する。</td></tr>
<tr><td>学習の
アドバイス</td><td colspan="8">１　休まず授業に出席し、提出物の期限を守ること。
２　演奏では自分なりの表現を大切にし、楽器演奏、歌唱、実技試験に臨む。
３　筆記試験も実施する。プリントは、ノートに貼って学期末に提出するので、日頃からノートの整理をしっかりと行う。</td></tr>
<tr><td>その他</td><td colspan="8">音楽大学受験のための学習とは違い、音楽を幅広く学習する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教科</td><td>外国語</td><td>科目</td><td colspan="2">コミュニケーション英語Ⅱ</td><td>講座</td><td>３年Ⅰ型</td><td>種別</td><td>必修</td></tr>
<tr><td>単位数</td><td>２</td><td>教科書</td><td colspan="6">ENGLISH NOW　English CommunicationⅡ（開隆堂）</td></tr>
<tr><td>副教材</td><td colspan="8">フレーズで英単語 3000（浜島書店）</td></tr>
<tr><td>授業形態</td><td colspan="8">講義、表現活動</td></tr>
<tr><td>科目の
目標</td><td colspan="8">英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の工夫をしながら伝える能力を養う。</td></tr>
<tr><td>身に付けて
ほしい学力</td><td colspan="8">１　「聞く」「読む」「話す」「書く」の４技能の基礎的な能力を身に付ける。
２　自分の意見をまとまりのある文で書いたり、話したりする能力を身に付ける。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">学習計画</td><td colspan="4">単元</td><td colspan="4">学習のあらまし</td></tr>
<tr><td colspan="4">【１学期】
6　Rakugo Goes to the U.S.
7　Robots across the Globe

【２学期】
8　A Super Pastry Chef
9　The Zero Emissions Project

【３学期】
Reading 2　Why Don’t You Study a Foreign Language?
Further Reading　TOKISOBA　時そば</td><td colspan="4">・アメリカ人女子高生が「落語」を見て、おかしかったことや驚いたことは何かを考える。
・世界有数の「ロボット大国」日本。日本ではなぜロボットの人気が高いのか考える。

・夢を叶えたパティシエの辻口博啓さんが経験した苦労や生き方を知る。
・山形県のある高校が挑戦した究極のエコカー作りについて知る。

・「外国語を学ぶことの利点」について学ぶ。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">評価の
観点・
評価方法</td><td colspan="2">コミュニケーションへの関心・意欲・態度</td><td colspan="2">外国語表現の能力</td><td colspan="2">外国語理解の能力</td><td colspan="2">言語や文化についての知識・理解</td></tr>
<tr><td colspan="2">コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。</td><td colspan="2">英語で話したり書いたりして、自分の考えなどを表現している。</td><td colspan="2">英語を聞いたり読んだりして、話し手や書き手の意向などを理解している。</td><td colspan="2">英語やその運用についての知識を身に付けるとともに、言語の背景にある文化などを理解している。</td></tr>
<tr><td colspan="8">上記の観点を踏まえ、①定期考査　②実技試験　③提出物　④授業態度　を総合的に判断して評価する。</td></tr>
<tr><td>学習の
アドバイス</td><td colspan="8">１　予習・復習を欠かさず行う。
２　英語でコミュニケーションを取ろうとする積極性を持つ。
３　大学進学を目指す者は、単語帳や参考書を使って家庭学習を欠かさず行う。</td></tr>
<tr><td>その他</td><td colspan="8">特になし</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教科</td><td>商業</td><td>科目</td><td colspan="2">原価計算</td><td>講座</td><td>３年Ｉ型</td><td>種別</td><td>必修</td></tr>
<tr><td>単位数</td><td>２</td><td>教科書</td><td colspan="6">原価計算 新訂版（東京法令出版）</td></tr>
<tr><td>副教材</td><td colspan="8">完全段階式　標準検定簿記問題集　全商１級　原価計算（東京法令出版）</td></tr>
<tr><td>授業形態</td><td colspan="8">講義、グループ学習、調べ学習、発表など</td></tr>
<tr><td>科目の
目標</td><td colspan="8">１　製造業における原価計算と工業簿記に関する知識と技術を習得させ、理解を深める。
２　原価の概念に対する理解を深め、原価計算から得られる情報を活用する能力と態度を育てる。</td></tr>
<tr><td>身に付けてほしい学力</td><td colspan="8">１　製造業における原価計算及び会計処理に関する知識と技術を習得する。
２　原価の概念について理解する。
３　原価計算から得られる情報を活用する能力と態度を身に付ける。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">学習計画</td><td colspan="4">単元</td><td colspan="4">学習のあらまし</td></tr>
<tr><td colspan="4">【１学期】
１　原価と原価計算
２　原価の費目別計算

【２学期】
１　原価の部門別計算と製品別計算
２　製品の完成・販売と決算
３　標準原価計算

【３学期】
１　原価情報の活用</td><td colspan="4">・原価の概念、原価計算の目的、製造業における簿記の特色と仕組みを知り、原価計算の概要について理解する。
・材料費、労務費及び経費の計算と記帳方法を学び、原価の費目別計算を行うための基礎的な知識と技術を習得する。
・個別原価計算、部門別個別原価計算、総合原価計算を取り扱い、原価の部門別計算と製品別計算を行うための基礎的な知識と技術を習得する。
・製品の完成・販売と本社・工場間の取引の記帳法及び製造業の決算を知り、製品の完成・販売に関する会計処理と決算を行うための基礎的な知識と技術を習得する。
・標準原価計算の目的と手続、原価差異の原因分析及び損益計算書の作成を学び、標準原価計算を行うための基礎的な知識と技術を習得する。
・直接原価計算の目的と損益計算書の作成及び短期利益計画を学び、直接原価計算の有用性について理解する。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">評価の
観点・
評価方法</td><td colspan="2">関心・意欲・態度</td><td colspan="2">思考・判断・表現</td><td colspan="2">技能</td><td colspan="3">知識・理解</td></tr>
<tr><td colspan="2">製造業の原価計算と工業簿記に関心を持ち、その知識と技術の習得と理解を深めることに意欲的に取り組んでいる。</td><td colspan="2">原価計算のそれぞれの特徴と適用される生産形態について自ら思考を深め、知識や技術を活用して適切な判断や創意工夫を行うことができるとともに、その成果を的確に表現できる。</td><td colspan="2">原価計算と工業簿記に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、製造業における諸活動を計数的に把握し、適切に処理できる。</td><td colspan="3">原価計算の基本的なしくみと工業簿記の基礎的・基本的な知識を理解している。</td></tr>
<tr><td colspan="8">上記の観点を踏まえ、定期考査、小テスト、課題提出、積極的な学習態度や取組姿勢などから総合的に評価する。</td></tr>
<tr><td>学習の
アドバイス</td><td colspan="8">１　休まずに授業を受けましょう。
２　初めて学習する科目です。慣れない用語に戸惑うかもしれませんが、くじけることなく、わからないことはどんどん質問していきましょう。
３　予習、復習をしっかりしましょう。授業の前にあらかじめ教科書を読みましょう。また、問題集を反復して問題を解き、間違えた箇所はその原因を追究して、弱点を補強しましょう。</td></tr>
<tr><td>その他</td><td colspan="8">特になし</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教科</td><td>商業</td><td>科目</td><td colspan="2">情報処理</td><td>講座</td><td>３年Ｉ型</td><td>種別</td><td>選択</td></tr>
<tr><td>単位数</td><td>３</td><td>教科書</td><td colspan="7">情報処理　新訂版　（実教出版）</td></tr>
<tr><td>副教材</td><td colspan="8">学習と検定　Excel で学ぶ全商情報処理検定テキスト　ビジネス情報部門２級　改訂版（実教出版）
学習と検定　Excel で学ぶ全商情報処理検定テキスト　ビジネス情報部門１級　改訂版（実教出版）</td></tr>
<tr><td>授業形態</td><td colspan="8">講義、演習、調べ学習、発表など</td></tr>
<tr><td>科目の
目標</td><td colspan="8">表計算ソフトウェアやワープロソフトウェア、プレゼンテーションソフトウェア、情報通信ネットワークなどを活用したビジネス情報の処理ができる。</td></tr>
<tr><td>身に付けてほしい学力</td><td colspan="8">１　情報の意義や役割について理解する。
２　個人情報や知的財産の保護に留意して、ビジネスの諸活動において情報を主体的に活用する能力と態度を身に付ける。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">学習計画</td><td colspan="4">単元</td><td colspan="4">学習のあらまし</td></tr>
<tr><td colspan="4">【１学期】
１　ビジネス情報の処理と分析
（１）情報の整列・検索・抽出
（２）ビジネスと統計

【２学期】
１　ビジネス文書の作成
（１）応用文書の作成
２　プレゼンテーション
（１）プレゼンテーションの技法
（２）ビジネスとプレゼンテーション

【３学期】
１　プレゼンテーション</td><td colspan="4">・表計算ソフトウェアの活用を学び、ビジネスに関する情報の処理と分析を行うための基礎的な知識と技術を習得する。

・文章の表現及び文書作成ソフトウェアの活用を学び、基本となる情報を基に、ビジネス文書を作成するための基礎的な知識と技術を習得する。

・話し方や話の構成及びプレゼンテーションソフトウェアの活用を取り扱い、自己の考えを適切に相手に伝えるための基礎的な知識と技術を習得する。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">評価の
観点・
評価方法</td><td colspan="2">関心・意欲・態度</td><td colspan="2">思考・判断・表現</td><td colspan="2">技能</td><td colspan="3">知識・理解</td></tr>
<tr><td colspan="2">情報の収集・処理・分析・表現について関心を持ち、ビジネスの諸活動において情報を活用することを目指して主体的に取り組み、情報を活用する実践的な態度を身に付けている。</td><td colspan="2">ビジネスの諸活動において情報を主体的に活用して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。</td><td colspan="2">情報の収集・処理・分析・表現に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、ビジネスの諸活動における情報の活用を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。</td><td colspan="3">情報の収集・処理・分析・表現に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、情報の意義や役割について理解している。</td></tr>
<tr><td colspan="8">上記の観点を踏まえ、定期考査、小テスト、課題提出、積極的な学習態度や取組姿勢などから総合的に評価する。</td></tr>
<tr><td>学習の
アドバイス</td><td colspan="8">１　授業を休まず、実習には積極的に参加しましょう。
２　コンピュータの利用分野が多様化しています。報道に気を配り、世の中で起こっている事柄について興味・関心をもち、最先端の情報をマスメディアから吸収しましょう。</td></tr>
<tr><td>その他</td><td colspan="8">特になし</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教科</td><td>家庭</td><td>科目</td><td colspan="2">子どもの発達と保育</td><td>講座</td><td>３年Ｉ型</td><td>種別</td><td>選択</td></tr>
<tr><td>単位数</td><td>３</td><td>教科書</td><td colspan="7">子どもの発達と保育　育つ・育てる・育ち合う（教育図書）</td></tr>
<tr><td>副教材</td><td colspan="8">なし</td></tr>
<tr><td>授業形態</td><td colspan="8">講義、実習</td></tr>
<tr><td>科目の
目標</td><td colspan="8">乳幼児の発達の特徴、乳幼児の生活と保育などに関する知識と技術を習得し、子どもの健全な成長を図る能力と態度を育てる。</td></tr>
<tr><td>身に付けてほしい学力</td><td colspan="8">１　乳幼児の発達の特徴、乳幼児の生活と保育などに関する知識と技術を身に付ける。
２　保育実習を通して子どもの健全な成長に関心をもち、かかわろうとする意欲やかかわることができる能力を身に付ける。
３　保育技術検定３級・４級に値する基礎的表現技術を身に付ける。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">学習計画</td><td colspan="4">単元</td><td colspan="4">学習のあらまし</td></tr>
<tr><td colspan="4">【１学期】
第１章　子どもの発達と特性
第２章　子どもの発達過程

【２学期】
第３章　子どもの生活
第４章　子どもの保育

【３学期】
第５章　子どもの福祉と子育て支援

※弓削保育所で年４～５回実習を行う</td><td colspan="4">・子どもの発達の概念や乳幼児期の子どもの発達の特性について学ぶ。
・子どもの心身の発達について学ぶ。
・乳幼児の生活の特徴と適切な養護の在り方、遊び、生活習慣の形成や健康管理などについて学ぶ。
・子どもの基本的な保育技術を学ぶ。
・子どもの福祉や子育て支援について学ぶ。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">評価の
観点・
評価方法</td><td colspan="2">関心・意欲・態度</td><td colspan="2">思考・判断・表現</td><td colspan="2">技能</td><td colspan="3">知識・理解</td></tr>
<tr><td colspan="2">・子どもの身体的・精神的発達や保育に関して、関心を持ち､それらを意欲的に学ぶ姿勢が見られる。</td><td colspan="2">・子どもの発達や保育に関わる幅広い知識を身に付け、子どもの発達、行動、感情、生活などについての理解を深めることができる。
・これらに関する自身の考えを、レポートや研究発表などで表現できる。</td><td colspan="2">・子どもの発達や保育に関わる事柄について、実習や観察を通じて知識を深めることができ、子どもを取り巻く問題について推測・考察ができる。</td><td colspan="3">・子どもの発達や保育に関する幅広い知識を習得し、子どもの行動や生活に関する基本的な事項が理解できている。</td></tr>
<tr><td colspan="8">上記の４つの観点に基づき、①定期考査　②実習　③提出物　④授業態度　を総合的に判断して評価する。</td></tr>
<tr><td>学習の
アドバイス</td><td colspan="8">１　授業を大切にし、集中して取り組むこと。提出物は期限を守ること。
２　実習では、安全面に気を付けながら積極的に取り組むこと
３　普段から新聞やテレビのニュースをチェックし、子どもを取り巻く環境に関心を持つこと。</td></tr>
<tr><td>その他</td><td colspan="8">保育技術検定を受験する場合、検定受験料が必要です。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教科</td><td>家庭</td><td>科目</td><td>生活と福祉</td><td>講座</td><td>３年Ｉ型</td><td>種別</td><td>選択</td></tr>
<tr><td>単位数</td><td>２</td><td>教科書</td><td colspan="5">生活と福祉（実教出版）</td></tr>
<tr><td>副教材</td><td colspan="7">なし</td></tr>
<tr><td>授業形態</td><td colspan="7">講義、実習</td></tr>
<tr><td>科目の
目標</td><td colspan="7">病気の予防と家庭看護、高齢者の介護などに関する知識と技術を習得させ、家族や高齢者の健康管理とともに、家庭看護や高齢者介護の充実を図る能力と態度を育てる。</td></tr>
<tr><td>身に付けてほしい学力</td><td colspan="7">１　病気の予防と家庭看護、高齢者の介護などに関する知識と技術を身に付ける。
２　施設実習を通して、コミュニケーション能力や介護技術を身に付ける。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">学習計画</td><td colspan="4">単元</td><td colspan="3">学習のあらまし</td></tr>
<tr><td colspan="4">【１学期】
１章　人の一生と生活・健康
２章　高齢化の現状と高齢者の特徴

【２学期】
３章　高齢者の自立生活支援
５章　介護・看護の実習と生活支援

【３学期】
４章　高齢者支援の法律と制度

※高齢者福祉施設へ年５回程度実習に行きます。</td><td colspan="3">・ライフステージごとの健康問題の特徴から、健康管理の必要性を理解し、その方法を考える。
・我が国の高齢化の特徴や現状と課題について理解し、社会福祉の在り方について考える。

・高齢者の心身の特徴を理解し、高齢者の病気の特徴について考える。
・高齢者介護や看護の基礎的・基本的な知識を理解し、技術を習得する。

・高齢者福祉の法律と制度について理解する。
・高齢者福祉関係施設の実習を通して、高齢者の介護に積極的に取り組む態度を養う。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">評価の
観点・
評価方法</td><td>関心・意欲・態度</td><td colspan="2">思考・判断・表現</td><td colspan="2">技能</td><td colspan="2">知識・理解</td></tr>
<tr><td>高齢者の健康と生活、介護などに興味を持ち、高齢者と積極的に関わり、適切な生活援助や介護をしようとする意欲と態度を身に付けている。</td><td colspan="2">生活の質を高めるとともに、高齢者の健康管理や自立生活支援について課題を見いだし、思考を深め、適切に判断し、創意工夫し表現する能力を身に付けている。</td><td colspan="2">高齢者の健康と生活、介護など、高齢者の健康管理や自立支援に関する知識を身に付けている。</td><td colspan="2">高齢者の健康と生活、介護など、高齢者の健康管理や自立支援に関する知識を身に付けている。</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="7">上記の４つの観点に基づき、①定期考査　②実習　③提出物　④授業態度　を総合的に判断して評価する。</td></tr>
<tr><td>学習の
アドバイス</td><td colspan="7">１　授業を大切にし、集中して取り組むこと。提出物は期限を守ること。
２　実習では、安全面に気を付けながら積極的に取り組むこと。
３　普段から新聞やテレビのニュースをチェックし、高齢者を取り巻く環境に関心を持つこと。</td></tr>
<tr><td>その他</td><td colspan="7">特になし</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教科</td><td>家庭</td><td>科目</td><td colspan="2">フードデザイン</td><td>講座</td><td>３年Ｉ型</td><td>種別</td><td>選択</td></tr>
<tr><td>単位数</td><td>３</td><td>教科書</td><td colspan="6">新版フードデザイン COOKING & ARRANGEMENT（教育図書）</td></tr>
<tr><td>副教材</td><td colspan="8">調理実習ノート専門編（愛媛県高等学校家庭科教育研究会）
調理実習ノート基礎編（愛媛県高等学校家庭科教育研究会）</td></tr>
<tr><td>授業形態</td><td colspan="8">講義、調理実習</td></tr>
<tr><td>科目の
目標</td><td colspan="8">栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を習得させ、食生活を総合的にデザインするとともに食育の推進に寄与する能力と態度を育てる。</td></tr>
<tr><td>身に付けてほしい学力</td><td colspan="8">１　栄養、食品、献立、調理などに関する知識と技術を身に付ける。
２　食生活を総合的にデザインするとともに食育の推進に寄与する能力と態度を身に付ける。
３　食物調理技術検定の２級を取得する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">学習計画</td><td colspan="4">単元</td><td colspan="4">学習のあらまし</td></tr>
<tr><td colspan="4">【１学期】
第２章　栄養素・食品の特徴
４　食品加工の目的
５　食品の選択と取り扱い
＜食物調理技術検定２級＞
【２学期】
第３章　調理と献立
第４章　調理実習
行事食
【３学期】
第５章　豊かな食生活をつくる
※適宜調理実習を行う</td><td colspan="4">・身の回りにある加工食品を知り、加工の方法や目的を理解する。
・ライフステージごとの栄養摂取の特徴を理解し、食品や調理法を判断することができるようになる。
・各様式の献立構成、食卓構成、作法を理解する。
・テーブルコーディネイトの基本をふまえ、食事のテーマにふさわしい食卓の整え方や環境作りの技術を身に付ける。
・食物調理技術検定２級の取得を目指す。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">評価の
観点・
評価方法</td><td colspan="2">関心・意欲・態度</td><td colspan="2">思考・判断・表現</td><td colspan="2">技能</td><td colspan="3">知識・理解</td></tr>
<tr><td colspan="2">食生活に関する諸問題に関心を持ち、食育の推進に向けて、積極的に取り組もうとする意欲と態度を身に付けている。</td><td colspan="2">食生活を総合的に捉えて計画・実践するために課題を見いだし、思考を深め、食育の推進に寄与するために、創意工夫し表現する能力を身に付けている。</td><td colspan="2">栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する技術を身に付けている。</td><td colspan="3">栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識を身に付けている。</td></tr>
<tr><td colspan="8">上記の４つの観点に基づき、①定期考査　②実習　③提出物　④授業態度　を総合的に判断して評価する。</td></tr>
<tr><td>学習の
アドバイス</td><td colspan="8">１　授業を大切にし、集中して取り組むこと。提出物は期限を守ること。
２　実習では、安全面と衛生面に気を付けながら積極的に取り組むこと。（エプロン、三角巾着用）
３　学習した内容を家庭で実践してみること。</td></tr>
<tr><td>その他</td><td colspan="8">調理実習費、検定受験料が必要です。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教科</td><td>英語</td><td>科目</td><td colspan="2">異文化理解</td><td>講座</td><td>３年Ｉ型</td><td>種別</td><td>選択</td></tr>
<tr><td>単位数</td><td>２</td><td>教科書</td><td colspan="6">Watching Light(浜島書店)</td></tr>
<tr><td>副教材</td><td colspan="8">フレーズで英単語 3000（浜島書店）</td></tr>
<tr><td>授業形態</td><td colspan="8">講義、表現活動</td></tr>
<tr><td>科目の
目標</td><td colspan="8">教材を用いて、英語の構造を理解し、英語を使ってコミュニケーションを図る実力を養成する。さらに、ツールとしての英語力を身に付けるだけでなく、英語を通して円滑なコミュニケーションを図るための知識や時事について学ぶ。</td></tr>
<tr><td>身に付けてほしい学力</td><td colspan="8">１　発展的な英語力を身に付ける。
２　文章を読み、相手にわかりやすく説明する英語力を身に付ける。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">学習計画</td><td colspan="4">単元</td><td colspan="4">学習のあらまし</td></tr>
<tr><td colspan="4">【１学期】
1　Ohtani Shohei’s Amazing Comeback
2　MISO de SMILE
3　Yellowstone National Park
4　The Age of Space Tourism Park
5　American Football

【２学期】
6　Capybaras
7　Takagi Miho: Speedskater
8　Oymyakon
9　Eco-Friendly Kudeju Furniture
10　Can Crickets Solve Food Shortages?
11　kyogi Karuta

【３学期】
12　Kyu-Can-Cho Project
13　Omune Kosuke: Clown
14　Pictograms Go Beyond Borders</td><td colspan="4">・大リーグでMVPに選出　大谷翔平選手
・地元のみそを伝える高校生のユニークな取組
・自然豊かなイエローストーン国立公園
・宇宙旅行が可能な時代へ
・アメリカの国民的スポーツアメリカンフットボール

・カタピラってどんな生き物？
・スピードスケートの高木美保選手
・世界一寒い村・シベリアのオイミャコンでの暮らし
・環境にやさしい組み立て家具
・世界で注目を集める昆虫色とは？
・畳の上の熱戦　競技かるた

・世界中にパンを届ける「救缶鳥プロジェクト」
・病院の子供たちに笑顔を　大棟耕介さん
・東京五輪で注目されたピクトグラムって何？</td></tr>
<tr><td rowspan="3">評価の
観点・
評価方法</td><td>コミュニケーションへの関心・意欲・態度</td><td colspan="2">外国語表現の能力</td><td>外国語理解の能力</td><td colspan="3">言語や文化についての知識・理解</td></tr>
<tr><td>コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。</td><td colspan="2">英語で話したり書いたりして、自分の考えなどを表現している。</td><td>英語を聞いたり読んだりして、話し手や書き手の意向などを理解している。</td><td colspan="3">英語やその運用についての知識を身に付けるとともに、言語の背景にある文化などを理解している。</td></tr>
<tr><td colspan="8">上記の観点を踏まえ、①定期考査　②実技試験　③提出物　④授業態度　を総合的に判断して評価する。</td></tr>
<tr><td>学習の
アドバイス</td><td colspan="8">１　予習・復習を欠かさず行う。
２　英語でコミュニケーションを取ろうとする積極性を持つ。
３　映画や洋楽などを通し、日ごろから海外の事物に関心を持つ。</td></tr>
<tr><td>その他</td><td colspan="8">特になし</td></tr>
</table>